

報道者各位

2019/07/10
NPO法人日本ビーチ文化振興協会

**東京コミュニケーションアート専門学校の学生による
「ビーチ・愛・観光」をテーマにオブジェを作成
フォトジェニックでお台場を世界に発信します
・同会場にて、一般公募したデザインTシャツを約200点展示します。**

NPO法人日本ビーチ文化振興協会（プロジェクト責任者 朝日健太郎 所在地：東京都中央区新川）は、「海辺の通年活用による地域活性」を目的に、人と海辺のかかわりを深め、全国の海辺の多目的活用および啓発活動を行っております。メッセージアート展におきましては、「ビーチ・愛・観光」をテーマとし、「ビーチ」への意識向上を目的とした「ビーチヒアートの空間融合」として、2010年より「おだいばビーチ」にて開催しております。

東京コミュニケーションアート専門学校(以下、TCA)は、東西線西葛西駅にある、クリエイティブ総合校です。「ビーチ」に対するイメージは、「ビーチ=海・海水浴」ではなく「ビーチ=浜で遊ぶ・身近にあるイメージ」という意見が非常に多いなか、今年から始動となるコラボレーション企画は、「ビーチ・愛」に加え、東京オリンピック・パラリンピックの会場となる観点から、「観光」を盛り込んだ3点をテーマに、TCAの学生が主体となり、「メッセージアート展2019」のメインオブジェを「考案・制作・展示」するまでを授業の一環として参加しております。ビーチを身近に感じて頂けるように、誰でも参加のできる「リボーダンス」を題材にメインオブジェを制作。また、観光をテーマとしオリジナルの「フォトブース」も手掛けております。それぞれ、TCAの学生から、当協会側へのプレゼンテーションを経て最終案を決め、6月より制作に取り掛かっております。前年までは、「おだいばビーチ」が会場でしたが、今年は、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の会場工事の為、「お台場シンボルプロムナード公園 お台場デッキ」が会場となります。その為、会場には砂を敷いた「仮設ビーチ」を設営し、道行く方々がビーチを身近に感じる事のできる会場の雰囲気を作ります。

今年のイベント会場となる「お台場シンボルプロムナード公園 お台場デッキ」は自由の女神像のある公園としても有名です。日頃から外国人観光客も多く、たくさんの方がフォトスポットとして利用しております。加えて、夏休みシーズンということもあり、多くの家族連れの方々も来場されるでしょう。「TCAオブジェ・自由の女神像・お台場」映えスポットとしても期待できます。

メッセージアート展は、今年で7回目を迎えます。テーマを「ビーチ・愛」とし、一般公募したデザインを白無地Tシャツにプリントし、会場に洗濯物を干すように「ひらひら～」と展示いたします。行き交う来場者が好きなデザインに投票し、各賞を決定するコンテストにもなっております。レインボーブリッジや自由の女神像を背景に、小さいお子様からプロのイラストレーター、漫画家の作品が一斉に風になびく様子は圧巻です。そして、このゆるやかなビーチ空間こそが「ビーチライフ」と呼称し、人間回帰する場所であることを啓発します。

今後も、日本ビーチ文化振興協会は、全国各地の自治体と協力し、美しいビーチの環境を整え、オールシーズン賑わうビーチ文化を形成することを目指してまいります。

メッセージアート展2019 ~みんなのビーチ海を愛そう~

日時：7月30日(火)12:00～21:00

31日(水)10:00～19:30(ビーチの日)

開場：お台場シンボルプロムナードお台場デッキ

(自由の女神像近く)

■プレスリリース問合せ先

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

広報担当：吉澤頌平 携帯：090-9382-7970 e-mail: shohei@jbeach.jp

メッセージアート展2019オブジェ
たこすけくん&くらみちゃん

